

## 分類名 [水稻]

### 3 水稻育苗用資材「三井合成培土L」「新しいなほ粒状培土特号」による稚苗育苗

古川農業試験場

#### 1) 取り上げた理由

現在市販されている人工育苗培土のなかでは安価な方である本培土は、稚苗育苗の実用性が認められ低コスト稲作に資することから、参考資料として取り上げた。

#### 2) 参考資料

(1) 三井合成培土Lと新しいなほ粒状培土特号を使用して育苗した苗は、稚苗の移植時苗形質の目標値の範囲内にあり、本培土は実用可能である。

(2) 各培土の成分含有率と使用土量の目安は下表のとおりである。

資材名		三井合成培土L	新しいなほ粒状培土特号
成分 (%)	窒素	0.07	0.06
	リン酸	0.12	0.09
	加里	0.06	0.06
使用土量 (kg/箱)	床土	2.0	1.8
	覆土	1.1	1.2

#### 3) 対象地域等

県内一円

#### 4) 特に留意すべき事項

##### (1) 利用上の問題点

- a 肥料成分は床土と覆土で1箱当たりなので床土・覆土とも使用する。
- b 殺菌剤などの薬剤の使用は防除基準通りに行う。
- c 本培土を使用した育苗法は、「稲作指導指針」に準ずる。
- d 本培土は当年の育苗のみに使用する。

##### (2) 残された問題点

なし

#### 5) 背景となった主要な試験研究

(1) 研究機関及び担当部科名 古川農業試験場栽培部作物科

(2) 研究課題名及び研究期間 除草剤・生育調節剤及び新資材に関する試験 平成9年

##### (3) 参考データ

三井合成培土L（三井L）と新しいなほ粒状培土特号（いなほ）の稚苗育苗における実用性を検討す

るため粒状くみあい合成培土3号（対照）と比較して試験した。

a 三井合成培土Lは、出芽は良好で育苗期間中に葉の退色もみられず、育苗終了時の充実度は対照より高く、葉色と窒素濃度は対照程度であった。

b 新しいなほ粒状培土特号は、出芽は良好で、種籾の持ち上がりが一部にみられた。葉色は淡く推移したが、播種後20日以降の退色は少なかった。育苗終了時の草丈は対照より短く、充実度は高かった。

表-1 移植時の苗質（5月14日、播種後26日）

区名	草丈 (cm)	葉数 (葉)	第1葉鞘 高 (cm)	葉身長 (cm)			根数 (本)	最長根長 (cm)	乾物重 (g/100本)		充実度
				1葉	2葉	3葉			茎葉	根	
三井L	12.1	2.8	3.0	2.1	5.1	4.0	9.5	5.0	1.37	0.35	1.13
いなほ	10.1	2.6	2.9	2.3	5.1	3.2	8.2	4.9	1.21	0.34	1.20
対 照	13.6	2.6	3.6	2.2	7.0	4.7	10.2	5.8	1.49	0.33	1.10

表-2 葉色とマット強度（5月14日、播種後26日）

区名	葉色 (富士カラースケール)	葉色 (葉緑素計)	茎葉窒素 (%)	マット強度 (kg/10cm)
三井L	3.7	32.3	3.44	2.94
いなほ	3.5	27.1	3.08	3.18
対 照	4.0	32.2	3.49	3.15

(4) 発表論文等

なし

【参考】

1) 稚苗の移植時苗形質の目標値（「稲作指導指針」による）

苗形質	草丈	第1葉鞘長	葉数	茎葉乾物重	充実度
目標値	10～15cm	3～4cm	2.1～2.5葉	1.2g/100本以上	1.0以上

2) 参考価格（平成9年10月現在）

資材名	1袋(20kg)価格	1箱当たり土量	1箱当たり価格
三井合成培土L	540円	3.1kg	約84円
新しいなほ粒状培土特号	530円	3.0kg	約80円
粒状くみあい合成培土3号	760円	3.1kg	約118円